



京都 YWCA

1 2014

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

見えていますか？子どもの貧困

—— 自立援助ホーム「カルーナ」開設に向けて



子どもの貧困とは

皆さんは、「子どもの貧困」という言葉をご存知ですか。もしかすると、アジアやアフリカで貧しい生活をしている子どもをイメージするかもしれません。今、日本では6人に1人の子どもが貧困状態にあると言われています。これは「相対的貧困」と呼ばれ、標準的な所得の半分を下回る世帯で暮らす18歳未満の子どもの割合です。そして、子ども期の貧困はその後の人生に大きな影響を与えることも指摘されています。



学習支援ボランティア団体 Atlas

学習支援活動で出会った子ども達

私はこれまで、貧困世帯の子どものための学習支援活動に関わってきました。学校の授業についていけない、でも塾に通うお金はない…、という子ども達を、無料または実費程度でボランティアが勉強をサポートする活動が、全国で広がりを見せています。

高校進学を目標とした中学生への学習支援を行う団体が中心ですが、遊びやおやつの時間など勉強以外の関わりにも工夫を凝らす団体も多く、地域社会から孤立しがちな子ども達が様々な人と安心してつながることのできる場として機能しています。

その学習支援活動で、私は様々な環境にいる子ども達に出会いました。幼い頃から精神疾患の母親の代わりに家事・育児を担い家庭を支えてきた子ども、母親と共に父親のDVや虐待から逃げてきた子ども、学校に通っていない子どもなど。「貧困」によって、お金がないだけでなく、健康・意欲・自信・つながり・経験など、様々なものが欠如状況に置かれてしまうことがわかりました。

京都 YWCA 自立援助ホーム開設に向けて

京都 YWCA では現在、女子対象の自立援助ホーム開設に向けて準備を進めています。自立援助ホームとは、15歳～20歳を対象とする児童福祉法に定められた施設です。家庭がない、家庭で暮らせないなどで行き先がない子ども・若者が、自立に向けて共同生活を営みます。

京都 YWCA が自立援助ホーム開設に至った経緯には、在日外国人への相談活動 (Asian People Together: APT) での経験や、京都市内に女子のための自立援助ホームがなかったことなどが挙げられます。そして、京都 YWCA が自立援助ホームを開設することは、「大切な次の世代を育てる」という私たちのミッションに合っていると判断したためです。

様々な困難を抱えた女子達が入居することが予想されますが、衣食住が満たされ、安全で温かな空間の提供を目指して準備を進めています。また、ホーム運営を通して、力強く人生を歩んでいける人を一人でも多く送り出すと共に、多くの人に子ども・若者の現状についてより知っていただきたいと考えています。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(伊原千晶)

— YWCA のなかが見た世界 —

北タイの有機農園での日々

北タイの山あいの小さな村での私の毎日は、その日に畑にある野菜を取獲し、ハーブを集め、薪を割って火をおこし、十数人分の食事づくりに追われています。仕事で移り住んだチェンマイで、僧侶を辞めたばかりの現在のパートナーと出会い、2011年に娘を授かり北タイに暮らすことになりました。マインドフルファームと名づけた有機農園で野菜や果物を育て、世界各国からの旅行者を農業ボランティアとして受け入れています。多国籍・多文化、そして毎日顔ぶれの違うメンバーで家族のように過ごしています。

「マインドフル」とは、過去にとらわれず、未来を憂うことなく、今ここにある幸せをしっかりとつかむこと——ファームでは瞑想を通してこれを身につけていきます。

娘の野ばらは2歳になり、飛び交う多言語にとまどいながらもたくましく育っています。国際結婚、不安定な配偶者ビザ、異文化での子育て、外国人ボランティアとの異文化間コミュニケーションなど——YWCA 在職中に APT で取り組んでいたことの延長線上に今の私の生活があります。

これから取り組みたいのは、村の子どもたちをファームに招くサタデースクール。外国人のボランティアに協力してもらい、英語や異文化にふれるプログラム、子どものヨガやヘルシークッキングの教室を開きたいと考えています。まさに YWCA が取り組んできたことばかり。YWCA から物理的には離れていますが、今も YWCA を身近に感じています。

www.mindfulfarmers.org

(森田紀子)



畑の野菜でヘルシーランチ

クリスマスバザール
へのご協力、
ありがとうございました！



12月7日(土)、京都YWCA会館の改修工事前最後の「クリスマスバザール」が開催されました。ボランティアのみなさん、来場者のみなさん、ご寄付・ご寄贈くださったみなさん、ありがとうございました。

入場料収入総額

(東日本大震災支援活動への寄付) : 56,750円

バザー協力者一覧(敬称略)

(株)ユニティー、飯室商店、(株)山田松香木店、(株)ティ・エム・エス、(株)マイチケット、平野歯科医院、よつ葉ホーム デリバリー-西京都、(有)テララ貸物店、オ・グルニエ・ドール、ヴェーリズ建築事務所、オニザキコーポレーション、伊那食品工業株式会社、松本弘子、松田弥寿子、高橋正子、池上信子、山本千鶴、北垣景子、清水義、浅野久代、山本知恵、有田佳子、清水義、田淵豊子、北垣景子、吉田紀子、平野富希

・ 京都YWCA90年の歩み ・

揺れ動いた社会とピースアクション(2000年～2006年)

新しい世紀に入り、2001年9月1日アメリカで起きた同時多発テロ事件から10日後、京都YWCAで「平和のためのちいさな祈りの会」が持たれたことを契機に、京都YWCA主催で市民パレードが行われ、その後「武力で平和はつくりえない」のメッセージを掲げて街頭活動やサイレントアピールを続けた。また、「靖国問題」、「新しい歴史教科書」などについての学習会も開催し、平和行動を積極的に行った。

100周年に向かって新たな出発(2007年～2013年)

1943年以来「京都基督教女子青年会維持財団」が財産を管理運営し、任意団体としての「京都YWCA」が会員活動を担う形をとってきたが、2007年5月新寄付行為が認可されて、事業と活動を統合する「財団法人京都YWCA」となった。その後、2012年に新法に基づく「一般財団法人」に移行し、2013年設立90周年を祝う会にて、「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」というコンセプトによる改修及び新事業(サービス付高齢者向け住宅、自立援助ホーム、ふれあい食堂)計画が発表された。

(編集部)

京都YWCAには
こんな素敵な講師がいます。
いっしょに学びませんか？

～フランス語講師 ジョアンさん～

ボンジュール。ジョアン・グルニエと申します。私はカナダのケベック市の近くで生まれました。皆さんはフランス語が5大陸で話されていることをご存知ですか？

私は、最初は京都工芸繊維大学の研究生として来日し、その後は院生となり、日本の都市と徒弟制度の歴史について研究しました。卒業後は米国に渡って研究を続けました。その後、江戸時代の香辛料や香木の取引と線香製造について論文を書くために再び来日しました。カナダや米国でフランス語を教えた経験があったことから、日本でもフランス語を教えることを頼まれました。現在は大学やカルチャーセンターで教えています。京都YWCAでも通常クラスやプライベートクラスが用意されていて、日本人でない方も大歓迎です。

あなたもフランス語を学びませんか？昔習ったフランス語に磨きをかけたり、旅行の準備として、あるいは5大陸の人々とコミュニケーションするために、あるいは東京オリンピックで来日する人々を迎える準備として。



外国籍住民と青少年のための「健康フィエスタ」2013

2013年11月16日、京都市伏見区総合庁舎にて、今年度で4回目となる健康フィエスタ2013が開催されました。健康フィエスタは地域に暮らす外国籍住民組織、市民団体、行政機関が共同で実施する外国籍住民や青少年向けのイベントです。今年も検査、相談、ワークショップ、ステージでの催物、情報コーナー、フードコートなどのプログラムが行われました。京都YWCA/APTは実行委員として関わり、生活、ビザ、労働などの相談コーナーを担いました。私は、健康フィエスタ2013のコーディネーターを務めました。

健康フィエスタの来場者は、検査などの各プログラムを通じて自分の体の状態を知ることで、健康について考えたり、意識を高めることができます。また健康フィエスタでHIV・性感染症の検査や胸部レントゲン検査を無料、匿名(胸部レントゲンの結果を送付するための住所は必要)で受けることができることがこのイベントの特徴の一つだといえます。

なぜHIV・性感染症の検査が必要なのかというと、HIVや性感染症に対して無関心な人や、偏見を持っている人がまだ多く、不安を感じてもなかなか検査を受けに行かず、また多言語で検査できる場所が少ないからです。健康フィエスタでは7言語の通訳者が待機し、性感染症について自分が理解できる言語で相談することができます。正しく理解し、検査を受けることで不安が解消されます。また、伏見区保健センターが共催しているため、1万円近くかかる検査費用も無料になります。ぜひこの機会に検査を受けてほしいと主催者は考えています。

しかし、たった一度のイベントへの参加で健康意識がすぐには変わるとは考えにくいので、健康フィエスタを継続し、何度でも参加してもらえるようにする必要があります。また新規来場者の開拓も欠かせず、そのためにはプログラムを工夫するなど、柔軟に対応していかなければならないと思います。

会友 プラー ポンキワラシ (ポップ)



シリーズ『理不尽な世界であきらめずに楽しく生きる』④

被災地とつながり続ける

パレスチナ・オリーブ 皆川万葉

10月末～11月末の仙台・宮城では、放射能関連の集会や講演会、映画上映会が毎週続きました。2年9ヶ月経つのに、未だ始まらない健康調査、目の前に積んである汚染牧草・稲わら。宮城のみんなの必死さと切迫感が伝わる報告で、甲府で聞いているのはなんとも切なくやりきれない思いでした。一方、楽天イーグルスの優勝は、仙台でみんなと盛り上がれなかったのは残念でしたが、息子と一緒に大騒ぎで喜びました。

みんなの放射線測定室「てとてと」の2周年イベントも11月にありました。現在、宮城県内には5ヶ所以上の市民測定室があり、「てとてと」と「小さき花 市民のための放射能測定室・仙台」が最初です。まずは食べ物から始まった測定ですが、現在は土壌の測定も重要になっています。

京都の人々が野菜を被災地に送るプロジェクト

原発事故後は、何を食べていいのか判断がつかず、ただ遠くの野菜を求めてスーパーを何周もしていました。そんな私たちの様子を見て、京都の友人が、沖縄・

伊江島のお野菜を送る「はなつちの会」プロジェクト(<http://hanatuchi.yu-yake.com/>)を考えてくれました。京都の野菜を送るのではなく、京都を中心にカンパを集め、伊江島の野菜を買って仙台・宮城に送る。これには、「被災と被災をつなぐ」という友人や支えてくれている皆さんの気持ちがありました。嬉しく、心強いことです。今は市民測定室もできて、セシウムが移行しやすい土壌、野菜などがわかるようになりました。例えば柚子からセシウムが検出された時期は、伊江島からシークワサー果汁を柚子代わりに頂きました。

伊江島からお野菜等を送ってくれているのは、反戦平和資料館を運営する「わびあいの里」の人たちです。伊江島には、農民が闘って米軍から土地を取り戻し、麦を育てている歴史があります。

今、沖縄ではオスプレイによる「健康被害」が言われています。人間の体はストレスにさらされる状況で、様々な体調不良を引き起こすが、因果関係を簡単には証明できない。まず自分たちで低周波を計測していくしかないという、放射能被害と似た状況が起きています。

今後のプログラム

ぷらっとふおーむ30

いろんな人がやってきて出会い、エンパワーされて再び旅立つような、そんな場になれば・・・と。普段なかなか話せないけれど気になっていることや、今話題のことなどを安心して語り合える場所を目指します。

■日 時：2014年1月11日(土)
14:00～16:00

■テーマ：「女性の多様なライフステージ」(結婚、出産、仕事への考え方など、日本YWCA「夫とよぼうキャンペーン」について)

※次回3月8日(土) テーマ「雑誌や映画、文学、聖書にみるジェンダー」

■参加費：500円

■主 催：京都YWCA次世代プログラム委員会

Peter Barakan DJ Live in Kyoto #6

■日 時：2014年1月12日(日)
13:30開場 14:00～16:00

■参加費：2,500円(お茶菓子付)
会員割引有

■定 員：80名(要予約)

■主 催：京都YWCAチャリティイベント企画委員会

カフェフリーデン 「しのびよる原発～福島をベトナムに輸出するのか？」

■日 時：2014年1月13日(月・休)
14:00～16:00

■参加費：500円(お茶菓子付き)

■内 容：ビデオ上映30分 講話30分
フリーディスカッション30分

■講 師：伊藤正子 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授

■申込み：要 前日までに京都YWCAへ
■主 催：京都YWCA平和委員会

京都YWCAのユース大集合！「ユースギャザリング2014」

他のユースは何やってんの？⇒経験交流でパワーアップ！春の鍋パーティもやります！

■日 時：2014年3月22日(土)
～23日(日) <1泊2日>

定期会員集会のお知らせ

京都YWCA第92回定期会員集会

日時：2014年3月1日(土)

14:00～17:00

(受付開始13:30)

場所：京都YWCAホール

ご寄付 ありがとうございます。

2013年10月1日から2013年11月30日
寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

神門佐千子、森律子

各指定寄付

*フィリピン台風被害者緊急支援募金：
小室京子、神門佐千子、池上信子、
神岡茂子、(株)神港洋行

*多世代・多文化ふれあいコミュニティ
事業にむけた改修募金：
中村弘子、山本千鶴、吉田紀子、難波實・美幸、
手島千景、北垣景子、安道大介、岡宥子、
有田孝子、浅野久代、有田佳子、松本弘子、
中村美智子、野崎泰子、江尻美穂子、
清水弥生、池上信子、匿名1名

*90周年みらい募金：
坪野えり子、山本知恵、藤原久子、宮武美知子、
運営委員会有志

*東日本大震災被災者支援：
畠中隆子、京都ロータリークラブ、
全日本あすなろ腹話術協会京都支部はじめの一歩、
東日本大震災被災者支援委員会有志

*生涯教育クラス事業：
松田賢一

*APT：
森律子、中路綾夏、柳原清美、北垣由民子

*国際委員会：
宮武美知子(委員会へ)、小寺敬子、宮武美知子
(交流グループへ)、宮武美知子(洛楽へ)

*平和委員会：
カフェフリーデン参加者有志

*カフェ事業委員会：
宮武美知子

多文化・多世代ふれあいコミュニティ 事業に向けた改修会債にご協力 いただいた方々

山本千鶴、上村愈巳子、西村佐記子、山高万寿子、
下村泰子、勝山久仁子、有田孝子、宮川知子、
中村美智子、筒井奈都子、吉田紀子、匿名1名

あなたの安心が、私達の願いです 有田税理士事務所



aritax 検索
京都市上京区武者小路通烏丸西入梅屋町468
電話 075-451-5178 FAX075-431-7215
ホームページ http://www.aritax.jp

11月・12月／理事会報告

- 90周年記念事業として「アストロリコ(アルゼンチンタンゴのグループ)コンサート」を2014年5月30日(金)に京都御幸町教会にて開催する。
- 「古本市」を2014年1月～3月までロビーにて開催する。(寄贈受付中)
- 定期会員集会準備委員会を立ち上げた。
- 2014年度の事業計画と予算について協議
- 2014年秋に、大規模改修工事後の「オープンデイ」を予定。
- 2014年度以降の事業変更などを含め、公益認定申請を行う。
- 2014年3月末までの間、空き室を短期宿泊希望者向けに提供。(詳細問い合わせ事務所まで)

KYOTO YWCA No.518

2014年1月号(1月1日発行)

発行人 上村愈巳子

発行所 一般財団法人京都YWCA

京都市上京区室町通水上ル

電話 (075)431-0351 FAX (075)431-0352

e-mail office@kyoto.ywca.or.jp

URL http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替 01080-9-1566

口座名義 (一財)京都YWCA

定 価 50円